

幌延深地層研究計画「令和元年度調査研究成果」および
「令和2年度調査研究計画」説明会 挨拶

令和2年7月15日
幌延深地層研究センター所長 山口 義文

- 幌延深地層研究センター所長を務めております山口と申します。
- 本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画「令和元年度調査研究成果」及び「令和2年度調査研究計画」の説明会に足をお運びいただき、ありがとうございます。
- まず初めに、昨年度に、令和2年度以降の研究計画につきまして幌延町、北海道との協議を経て、受け入れるとの御回答をいただきましたことをこの場をお借りして、改めてお礼申し上げます。
- 本日は、令和元年度の調査研究成果と令和2年度の研究計画をご説明させていただきますが、これまで着実に成果をあげつつ研究開発が出来たのも、幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しております。
- いずれにしても、機構の事業の実施においては、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。
- それでは、成果および計画のそれぞれの概要の説明をさせていただきますので、忌憚のないご意見等いただければと思います。
- 今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。